

⑦令和4年8月 山形県・青森県大雨における TEC-FORCEの自治体支援活動

受賞機関 国土交通省 東北地方整備局
国土交通省 関東地方整備局
国土交通省 中部地方整備局

キーワード 広域派遣、TEC-FORCE、被害状況調査、ICT技術、24時間体制での緊急排水

全建賞審査委員会の評価ポイント

令和4年8月の山形県・青森県大雨におけるTEC-FORCEによる被災状況調査、緊急排水等の活動。複数県にまたがる広域災害に対して、全国の地方整備局からの広域派遣で対応しており、TEC-FORCEのリエゾン活動、被害状況調査等の実施が早期の激甚災害指定に結びつき、復旧の加速化や二次災害防止に貢献している点が評価された。



被災現場におけるTEC-FORCE活動状況

1. はじめに

令和4年8月3日午前から、停滞前線等の影響で青森県及び秋田県に発生した線状降水帯により大雨となった。その後8月4日未明にかけて、前線の南下により山形県及び新潟県に「大雨特別警報」などが発表され、各地で記録的な大雨となった。

また、8月9日から14日にかけて、停滞前線等の影響により、青森県深浦町に「記録的短時間大雨情報」が2回発表され、8月平均の4倍以上の記録的な大雨になるなど、青森県や秋田県で断続的に激しい雨となった。

これら立て続けに発生した大雨により、県管理の延べ109河川281箇所で護岸崩落などが発生、山形県の県道で橋梁1橋が流出するなどし、高速道路、国、県管理道路の延べ20路線24箇所ですべて全面通行止めとなったほか、青森県鯉ヶ沢町では中村川が氾濫し、町中心部が浸水するなど、各地で大きな被害をもたらした。

この一連の災害は、激甚災害に指定されている。



流出した大巻橋（山形県） 町中心部の浸水（青森県）

2. 事業の概要

令和4年8月大雨により河川の氾濫や土砂災害等の被災を受けた4県4市8町の自治体に対し、東北地方整備局のほか、関東・中部地方整備局からの広域派遣を含めたのべ755人・日のTEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）（リエゾン含む）の派遣により、被災自治体の支援ニーズの把握、自治体所管施設の被害状況調査、浸水解消に向けた緊急排水作業、路面清掃活動等を実施した。

また、災害協定に基づき東北測量設計協会から派遣されたドローン操作パイロットの同行により、迅速な被災状況の把握やドローンによる現地測量などの技術支援をいただいた。

3. 事業の成果

東北・関東・中部地方整備局から自治体に派遣したTEC-FORCEによる約1ヶ月の長期にわたる被災状況調査のほか、防災ヘリコプター「みちのく号」及びICT技術（ドローン等）を活用した迅速な調査等を行い、自治体に調査報告を行った。

また、夜間の活動支援として照明車の派遣を行い、青森県においては24時間体制での緊急排水を行うとともに、山形県には関東・中部地方整備局からの排水ポンプ車を派遣して各地の浸水被害解消に向けた活動を行った。

これらの活動は、被災地域の復旧作業の加速化、二次災害の防止に寄与し、自治体首長等から高い評価をいただいている。



緊急排水状況（青森県）

ICT技術を活用した調査

4. おわりに

令和4年8月大雨のTEC-FORCE活動は、猛暑が続き熱中症が危惧される中、道路の損壊等により徒歩での被災状況調査を強いられるなど、厳しい環境下での活動となったが、各隊員が安全管理を徹底し、無事に活動を終えることが出来た。

近年、災害の頻発化・激甚化に伴い、TEC-FORCEの派遣回数増加に加え、求められる役割が多様化・高度化している中で、地方自治体の要請に応えるべく、関係組織との連携強化、隊員の技術力・対応能力の向上及び装備品の充実に向け、引き続き、全力で取り組んで行く所存である。